

公安委員会会議録

開催日時	自 午後 1時00分 令和8年2月18日(水) 至 午後 3時56分	
開催場所	山口県警察本部公安委員会室、同公安委員室	
出席者	公安委員	野村委員長 弘永委員 今村委員

第1 審議概要

本部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、情報通信部長及び首席監察官同席の上、下記の報告を受けた。

1 令和8年度警察費当初予算(案)の概要

警務部長から、

令和8年度警察費の当初予算編成については、非常に厳しい財政状況の中、粘り強い折衝を行い、重点施策を含め警察活動に必要な予算を確保している。

(1) 要求額の総額

422億7,731万3千円

前年度と比べ約7%の増額であり、警察本部庁舎の非常用発電機更新経費や、防府警察署建設事業の庁舎建設工事費、給与改定に伴う給与費の増額等が主な要因である。

(2) 主要事業

主要事業については、県の総合計画である「やまぐち未来維新プラン」に掲げる重点施策に基づいた事業の予算要求を行い、それぞれ容認されている。

ア 強みを伸ばす産業基盤の整備

- 技術情報流出防止対策推進事業

イ 犯罪や暴力から県民を守る対策の推進

- うそ電話詐欺未然防止推進事業
- ICT機器を活用した少年の被害防止対策等推進事業
- 警察学生ボランティア活性化事業

ウ 地域に密着した安全・安心活動の推進

- 警察署建設費
- 駐在所等改築費
- 街頭防犯カメラ設置補助金交付事業

エ 交通事故から県民を守る対策の推進

- 交通安全県やまぐち推進事業
- 交通事故防止施設総合整備事業

オ サイバー空間における安心・安全の確保

- スマートフォン解析用資機材

カ 社会の変化に対応した捜査力の強化

○ 刑事手続 I T 化事業

(3) 今後の予定

2月24日に警察予算(案)の概要を公表し、3月県議会における審議を経て成立する予定である。

旨の説明があった。

今村委員から、「折衝の結果、予算確保の見込みとなり良かったと思う。交通事故防止施設総合整備事業について、資材費等が高騰している影響があるのではないか。」旨の発言があり、本部長から、「予算の範囲内で適正に執行していく。」旨の説明があった。

弘永委員から、「給与費等の増額も含まれているようだが、警察費全体として必要な予算を確保できているか。さらに、社会の変化に対応した捜査力の強化における刑事手続 I T 化事業について、全国的に取り組んでいるものか。」旨の発言があり、警務部長から、「施策的経費など警察費として必要な予算は確保できている。また、刑事手続 I T 化事業については、全国的に取り組んでいるものである。」旨の説明があった。

野村委員長から、「匿名・流動型犯罪などは体感治安の悪化に繋がるため、機器の整備や防犯関係の取組など、引き続きよろしく願います。」旨の発言があった。

2 山口県警察職員採用試験への取組(令和8年度)

警務部長から、

令和7年度採用試験の実施結果について、警察官A(大卒程度)の応募者及び受験者数は昨年度から更に減少しており、警察官B(高卒程度)は、応募者数が増加したものの受験者数は同数であった。

警察官全体の競争倍率は2.0倍で過去最低を更新した。警察職員全体では応募者数及び受験者数は増加したものの、最終合格者数が増加した影響により競争倍率は2.4倍となり、前年から低下した。

(1) 令和8年度採用試験における制度改正

- 職務経験者を対象とした試験区分であるキャリアチェンジ枠の新設
受験資格は、一般枠の条件に民間企業等で2年以上の職務経験を追加
- 警察官採用試験の第1次試験における岩国会場の増設
受験者の利便性向上を目的として、年に2回実施している警察官採用試験の第2回試験では、第1次試験の会場に岩国会場を増設
- 資格加点制度の拡充

従来のTOEICに加え、TOEIC Bridgeを新たに資格加点に追加

(2) 今後の取組

社会情勢の変化に応じた試験制度の改正に加え、県警察職員に対して採用募集活動の意識高揚を行う。

また、採用募集ビジョンに基づく戦略的かつ中長期的視点を持った取組の推進として、これまでの傾向から受験者の多くが在籍していた学校等を重点取組校として指定するほか、県外に進学した学生に対して、卒業後に山口県での採用を視野に入れてもらえるよう中期的視点で取り組んでいく。

さらに、各警察署での効果的な取組を県下全域で展開していくなどの活動を推進していく。

旨の説明があった。

今村委員から、「少子化等の社会情勢もあり、採用募集活動の成果が表れにくい状況なのではないか。中国四国管区内の会議において他県警察でも同様の議論となってお

り、重要な課題である。引き継ぎ、情勢を分析しながら様々な試みを行ってほしい。県外に進学した方に対する採用募集活動は、広島県や福岡県での活動を強化しては如何か。」旨の発言があり、本部長から、「広島県と福岡県に山口県庁が移住者向け相談窓口を作っているので、山口県警察職員の採用募集活動においても検討したい。」旨の説明があった。

弘永委員から、「キャリアチェンジ枠は中途採用に近いものか。就職を考えている若い世代は福利厚生を重視する方もいると思う。どの業種も採用募集活動は大変な情勢だと思うが、引き続き頑張ってもらいたい。」旨の発言があり、警務部長から、「キャリアチェンジ枠は2年以上の職務経験がある方を対象としているので、いわゆる第二新卒といわれる方が受験してくれることをイメージしている。」旨の説明があった。

野村委員長から、「キャリアチェンジ枠について、想定では一般企業や警察以外の公務員として勤務している方に対して、県警察の採用試験を受けやすくするものか。」旨の発言があり、警務部長から、「仕事をしながら採用試験対策に多くの時間を割くことが難しい方もいると思われるので、県警察の採用試験を受けてもらいやすくするために設けた制度である。」旨の説明があった。

3 「山口県警察防犯動画コンテスト」の開催結果

生活安全部長から、

山口県警察防犯動画コンテストの開催結果について説明する。このコンテストは、高い発信力のある高校演劇部員と高度な映像技術を持った専門学校の学生が協働で防犯動画を作成し、県警察の公式YouTubeチャンネル等で発信を行うことにより、幅広い世代に対し詐欺被害防止意識の向上や犯罪加担防止に向けた機運の醸成を図ることを目的としたものである。

(1) 結果

- 長編の部 最優秀賞
防府商工高校 × Y I C情報ビジネス専門学校®
- 短編の部 最優秀賞
山口コアカレッジ® × 山口高校
- 特別賞
防府商工高校

(2) 応募作品数

- うそ電話詐欺被害防止
3作品
- SNS型投資・ロマンス詐欺被害防止
2作品
- 闇バイト加担防止
3作品

(3) 表彰式

表彰式を2月14日(土)に山口県警察本部において実施しており、出席者は高校及び専門学校10校の代表生徒等43名であった。

(4) 感想

高校生からは、「詐欺被害を考える良い機会となった。」、「見る人に詐欺の怖さが伝わるように、シーンの構想をみんなで考えた。」、「軽い気持ちで始めたバイトが犯罪かもしれないので、内容をよく確認して始めるべきだと思った。」などの感想があり、専門学校生からは、「動画編集を通じて、被害者が騙されていく心理が

良く分かった。」などの感想があった。

(5) 取組結果

1月13日から1月19日の間、県警察公式チャンネルYouTube及びXで配信した結果、再生数の合計は23,947回であった。

(6) 今後の方針

今回の作品は、県警察公式チャンネルによる配信やデジタルサイネージを活用した広報を行った。今後は、各警察署で実施する防犯講習等で活用することとしている。

旨の説明があった。

今村委員から、「県民に身近な高校生が出演しており、詐欺被害防止等に係る広報や啓発活動として、よい取組であったと思う。一つのストーリーを短編と長編それぞれに編集しているので、作品の中には短編が適したものと長編が適したものがあると感じた。」旨の発言があった。

弘永委員から、「動画を作成した学生は防犯等について相当調べたのではないかと思う。さらに友人や周囲の方にも波及していくことも大切である。コンテストは意義のある取組だと思うので、防犯に関する意識が若い方に広がっていけばよいのではないか。」旨の発言があった。

野村委員長から、「写真等のコンテストと違い、動画の審査は難しい面もあると思う。どの作品も考察されており面白く、力作ぞろいであると感じた。演劇部の学生は、舞台での演技と動画作成では勝手が違ったと思うので、表現を工夫する良い機会となったのではないか。」旨の発言があった。

第2 決裁・報告

課長等から下記のとおり説明を受け、決裁を行うなどした。

1 決裁概要

(1) 運転免許の行政処分

運転管理官から、本日の出席者5名の処分理由に係る事案概要、意見の聴取における陳述内容について説明を受けた後、審議のう え量定どおり処分を決定し、そのほか意見の聴取等欠席者31名の処分を決定し、11名を再呼び出しとした。

(2) 苦情の申出の受理

公安委員会会務官から、公安委員会宛てになされた苦情の申出について要旨の説明を受け、決裁した。

(3) 公安委員会宛て文書への対応方針

公安委員会会務官及び地域企画課長から、公安委員会宛てになされた文書について対応方針の説明を受け、決裁した。

(4) 苦情の申出に対する調査結果及び回答

組織犯罪対策課長から、令和7年12月10日に受理の報告を受けた公安委員会宛ての苦情の申出について、調査結果の説明を受け、回答文を決裁した。

(5) 山口県警察本部組織規則の一部改正

企画室長から、令和8年度組織改編に伴う山口県警察本部組織規則の改正について説明を受け、決裁した。

(6) 交番その他の派出所及び駐在所の名称、位置及び所管区に関する告示の一部改正

企画室長から、令和8年度組織改編における、駐交番の再編整備に伴う交番の位置及び所管区の整理等により、公安委員会告示を改正する旨の説明を受け、決裁した。

2 報告概要

(1) 山口県公安委員会事務の専決状況

運転管理官から、1月中の運転免許課関係の山口県公安委員会事務の専決状況について、交通企画課長から、1月中の交通企画課関係の山口県公安委員会事務の専決状況について、交通規制課長から、1月中の交通規制課関係の山口県公安委員会事務の専決状況について、交通指導課長から、1月中の交通指導課関係の山口県公安委員会事務の専決状況について、それぞれ報告を受けた。

(2) 警務課関係業務説明

警務課長から、警務課関係業務について説明を受けた。

(3) 「被疑者取調べ適正化のための監督に関する規則」に基づく調査の開始（2件）

公安委員会会務官から、「被疑者取調べ適正化のための監督に関する規則」に基づく2件の調査の開始について、対応方針の報告を受けた。

(4) 美祢線沿線地域公共交通協議会の開催状況

交通規制課長から、美祢線沿線地域公共交通協議会の開催状況について説明を受けた。

(5) ストーカー規制法に基づく禁止命令等の実施状況

人身安全・少年課長から、1月中のストーカー規制法に基づく禁止命令等の実施状況について、報告を受けた。

(6) 監察関係業務報告

監察官室長から、3月県議会で報告する損害賠償事案及び1月中の警察本部長宛てになされた苦情の受理状況等について、報告を受けた。

(7) 退職警察職員表彰式の開催

監察官室長から、3月31日に実施する退職警察職員表彰式の開催概要について説明を受けた。

第3 協議

今後の公安委員会における運営について、協議した。